

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	今年度の目標達成に挙げての取り組みは、コロナ禍のため中断している。コロナ収束の際は再始動して、利用者が地域の一員として暮らし続ける支援の継続を期待する。	コロナ収束後は、「地域との交流を図る」「事業所内の地域交流スペース」の活用について再検討し、地域との繋がりを深める。	・コロナ収束後は地域とのつながり、関係を再構築するため地域ケア会議や行事に参加するように努める。 ・コロナ収束までは、継続して	12ヶ月
2	5	保険者である行政に、運営推進会議の議事録、広報誌、外部評価報告書などの提出の際には、コロナ対策や困難事例など、相談や助言を日頃から得るなど、協力関係を築かれることを望む。	行政(市町村担当者)と連携を図り、協力体制を構築する。	・コロナ収束後は、介護相談員の訪問を再開し相談、助言を得てサービスの質の向上を図る。 ・運営推進会議の議事録の送付等の際に、実践している取り組みやコロナ予防対策などの情報も発信し協力体制を築くように努める。	12ヶ月
3	6	委員会では、虐待を含め話し合っているとの事だったが、現場でも話し合う機会が必要である。会議報告や研修での学びを利用者支援にどのように生かしているかや、気になる言動での禁止項目の統一など議事録を取り、法人会議に提案をするなど積み重ねていかれることを期待する。	介護保険指定基準の身体拘束廃止に基づいたサービス提供を行う。また、日常の入居者支援・対応を振り返る機会を設け、適宜サービスの見直しを行う。	・「虐待・身体拘束委員会」に参加した併設特養職員から議事内容を確認し、月1回のグループホーム会議内で共有する。 また、グループホーム内での入居者支援時の言動等の見直しなどを行い、身体拘束をしないケアを徹底する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。